



観光型高速クルーザー「SEA SPICA」 せとうち島たびクルーズの販売について

2020年8月20日
西日本旅客鉄道株式会社
瀬戸内海汽船株式会社

JR西日本グループおよび瀬戸内海汽船グループは、2020年夏に運航開始の新しい観光型高速クルーザー「SEA SPICA（シースピカ）」にご乗船いただける個人向けの旅行商品「せとうち島たびクルーズ」の2020年10月～12月の販売について詳細が決定しましたので、お知らせします。

新観光列車「etSETOra」や山陽新幹線などの陸上ルートと合わせてせとうちエリアを周遊しやすく、かつ地域の魅力を満喫いただけるコースです。「せとうち広島ステーションキャンペーン」開催期間中に、多くのお客様にせとうち広島の開放的な自然を楽しんでいただけることを期待しております。「SEA SPICA」では新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施の上、皆様をお出迎えいたします。ご旅行の際は、「新しい旅のエチケット」を意識いただき、安全で、楽しいせとうち広島へお出かけください。

1. 設定期間について

10月2日(金)～12月14日(月)の 月曜日・金曜日・土曜日・日曜日分を順次発売します。
(一部設定の無い日がありますのでご注意ください)

2. 旅行商品「せとうち島たびクルーズ」の発売箇所について

- 瀬戸内海汽船トラベルサービスのホームページまたは窓口では、「SEA SPICA」と瀬戸田での「たご会席の昼食」がセットになった旅行商品などをご購入いただけます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。
瀬戸内海汽船 <http://setonaikaikisen.co.jp/simatabi/>
- JR西日本ネット予約「e5489」できっぷをご購入のお客様は、「せとうち島たびクルーズ」を特別価格でご購入いただけます。乗船の際に、きっぷの購入時に発行される予約確認票の画面提示、もしくはプリントアウトの提示が必要となります。詳しくは下記ホームページをご参照ください。(申込ページは9月3日(土)公開予定)
せとうちパレットプロジェクト <https://www.setouchi-palette.jp/cruise>
- 2020年9月に新たにサービスを開始いたします観光型 MaaS「setowa」で、「せとうち島たびクルーズ」のデジタルチケットを特別価格でご購入いただけます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。
setowa <https://www.jr-odekake.net/navi/setowa/>
- 下記の旅行会社では、広島方面への個人旅行のお客様向けのオプションツアーとして発売します。
詳しくは各旅行会社へお問い合わせください。



※出発地域によっては商品設定のない旅行会社もあります。

3. その他

- 船内では、乗船いただいたお客様向けに(株)NTTドコモ中国支社および(株)ギフトパッドとの連携により、インターネット上からお土産を贈ることができる非接触型お土産物贈答サービス「みやげと in SEA SPICA」を乗船いただいたお客様向けに導入いたします。
- 乗船いただいたお客様には記念として「瀬戸内しまたびライン乗船券」をお渡しいたします。乗船券の提示で、竹原や瀬戸田の観光施設で割引や特典を受けることができますのでご活用ください。
詳しくは せとうちパレットプロジェクトのホームページでご確認ください。(9月上旬公開予定)

別紙

1. SEA SPICA 外観・内観



2. 瀬戸内しまたびライン運航時間・コース（航路）

東向き 広島港→三原港	広島港	プリンス ホテル	呉港	下蒲刈島 (下船観光)	大久野島 (下船観光)	瀬戸田港	三原港
	8:30発	8:38発	9:05発	70分観光	30分観光	12:50着	13:15着

西向き 三原港→広島港	三原港	瀬戸田港	大久野島 (下船観光)	御手洗 (下船観光)	呉港	プリンス ホテル	広島港
	13:25発	13:50発	30分観光	60分観光	17:25着	17:52着	18:00着



3. 船上風景の見所・立ち寄り観光地

※写真は全てイメージです。撮影は「瀬戸内しまたびライン」航路上からのものではございません。



【広島港・江田島沖】
江田島や宮島、四国方面へ向かう船が多数発着する広島港。港を出ると江田島沖には多数の「かきいかだ」や、穏やかな瀬戸内海に浮かぶ美しい島々がクルーズ船の旅を盛り上げてくれます。



【呉湾】
瀬戸内海のほぼ中心に位置し、明治時代に呉鎮守府が設置されたことが契機となり軍港として発展した港です。現在は海上自衛隊呉基地があり、艦船や潜水艦などを間近に見ることができます。



【音戸の瀬戸】
本州と倉橋島の間にある海峡。狭い可航幅、多種多様な船舶が通行する交通量の多さが特徴。平清盛が1日で切り開いたという伝説も残ります。



【安芸灘大橋】
本州と下蒲刈島をつなぐ「安芸灘とびしま海道」の入口に架かる橋。瀬戸内海を連想させる水色の橋が美しい瀬戸内海とマッチしており、船の上だからこそ楽しめる大迫力の絶景が見所です。



【御手洗（大崎下島）】
江戸時代から風待ち、潮待ちの良港として栄えた御手洗は、人と情報が集まる要衝として発展し、現在も残るその町並みは、1994年に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、2017年には日本遺産の認定を受けました。また、明治以降の洋風建築や昭和初期の看板なども点在し、時代に応じた発展の跡をとどめており、歴史情緒にあふれたエリアです。



【大久野島】
1971年、地元の小学校がウサギ8羽を島に放したことから始まり、現在は約900羽のウサギが生息しています。いまや国内外から人気のある大久野島ですが、戦時中、日本軍が毒ガスを秘密裏に作り、地図自体からも存在を消された悲しい歴史も。島内には毒ガスを精製していた痕跡が残っています。



【瀬戸田（生口島）】
レモンの名産地として知られるとともに、平山郁夫美術館、耕三寺博物館・大理石庭園「未来心の丘」といった観光名所も豊富で、食とアートを楽しめるエリアとして人気の瀬戸田。しまなみ海道レンタサイクルの貸出も行っています。



【下蒲刈島】
三之瀬瀬戸の急潮を借景に、松を主樹としたみどり豊かな落ち着きと潤いのある庭園で、江戸時代に隆盛を極めた歴史と文化を紹介した「松濤園」、ここに所蔵される資料がユネスコの世界記憶遺産に登録されています。また、多くの漢学者らが訪問し、交流を深めた茶室は壁が回転する珍しい「どんでん返し」のからくりをみることが出来る「白雪楼」、日本建築に則った荘厳で静寂な雰囲気の中、国内外で著名な近代美術作家の作品を展示する「蘭島閣美術館」などの文化施設が多数存在しています。



【三原】
「タコのまち」として有名であり、タコ刺し等の新鮮なタコ料理を食べることができる店が多数あります。また、市内にある竜王山山頂からは、瀬戸内海随一と呼ばれるせとうちの多島美を見ることができます。